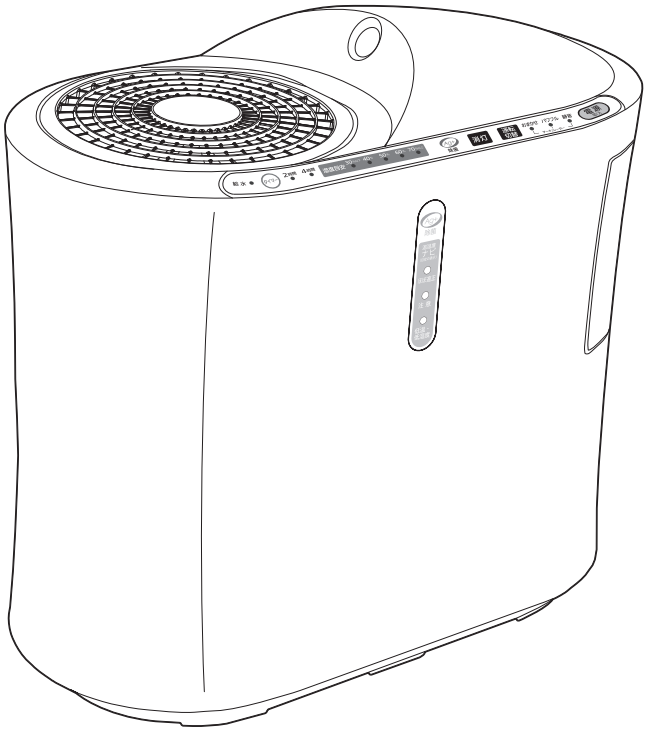
IRIS OHYAMA

家庭用

強力ハイブリッド加湿器
PHA-750

取 扱 説 明 書



もくじ

ご使用の前に

製品の特長 …… 2
安全上のご注意 …… 3
使用上のご注意 …… 5
各部の名称 …… 6
ご使用の前に …… 8

使いかた

使いかた …… 9
温湿度ナビについて ……11

お手入れ

お手入れについて ……12
イオン交換樹脂
カートリッジについて ……15
収納について ……16
別売品 ……16

こんなときには

故障かな?と思ったら ……17
仕様 ……19
保証とアフターサービス ……19
保証書 …… 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

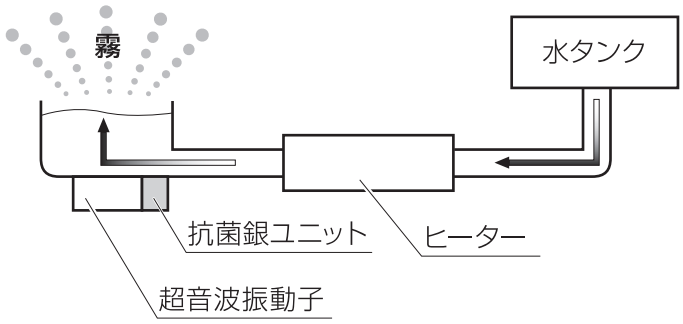
保証書付

- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- **ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

製品の特長

この加湿器は、「**加熱式**」＋「**超音波式**」による、ハイブリッドタイプです。

ヒーター内で約70℃に温められた水が、超音波振動によって霧状になり、室内を加湿します。



清潔で安心

本製品は、加湿器内部の除菌のために、超音波振動子の近くに抗菌銀ユニットを配置しています。
抗菌銀ユニットには、抗菌成分である銀を含むガラスブロックを使用しています。
このガラスブロックが水に徐々に溶け出して銀イオンを放出することで、水の除菌を行います。
約70℃の加熱と銀イオンのダブル効果で、加湿する水を清潔に保ちます。

お部屋のすみまで強力加湿

加湿器の吹き出し口にあるサーキュレーターが、霧状の水分をお部屋に広げます。
強力加湿で、広いお部屋もしっかり潤います。

フィルターレスでクリーン加湿

お手入れや交換の必要な加湿フィルターを使用していません。
安定した加湿量で、クリーン加湿を行います。

安全上のご注意

ご使用になる前に、この**「安全上のご注意」**をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、**「警告」「注意」**の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告
誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意
誤った取り扱いをすると、人がケガをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

してはいけない「禁止」内容です。

しなければならない「強制」内容です。

⚠ 警告

プラグを抜く

●異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
発煙、発火、感電の恐れがあります。
〔異常の例〕
・こげくさいにおいがする
・電源プラグ、電源コードが異常に熱くなる
・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
・運転中時々止まる
・運転中、異常な音がする
・触れるとビリビリ電気を感じる
異常・故障があった場合には、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください

水ぬれ禁止

●水まわり、風呂場など湿気のある場所での使用は絶対にしない
発火・感電の原因になります。

●本体を水につけたり、本体に水をかけない
感電・故障の原因になります。

禁止

●灯油・ガソリン・シンナーなどの引火性のあるもの、火の気のあるもの、トナーなど可燃性のもののそばで使わない
●食用油など油成分の浮遊している場所で使わない
火災の原因になります。

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う

必ず実施

●電源プラグのほこりは定期的にとる
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

●電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる発火・感電の原因になります。

●お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やケガの原因になります。

禁止

●交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる発火・感電の原因になります。

●電源コードはたばねて通電しない
火災の原因になります。

●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・ケガの原因になります。

●電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

⚠ 警告

分解禁止

●絶対に分解・修理・改造はしない
発火・ケガ・異常動作の原因になります。

禁止

●すき間からものや手を入れない
感電やケガの原因になります。

禁止

●子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所やペットの近くで使用しない
ケガや感電の恐れがあります。

●屋外では使用しない
故障して、ショートや発火の原因になります。

⚠ 注 意

禁止

●火気や暖房器具などに近づけない
本体・電源コードなどが変形・変色・ショートし、発火の原因になります。

●可燃性のものや火のついたタバコや線香などに近づけない
発火することがあります。

必ず実施

●水タンクや吹き出し口を正しく取り付ける
正しく取り付けないと水漏れや周囲の汚損の原因になります。

禁止

●吸気口や吹き出し口をふさがない
吸気口や吹き出し口をタオルやカーテンでふさがないでください。水漏れや加熱の原因になります。

禁止

●加湿された風が、家具や壁、カーテンなどに直接あたるところに設置しない
家具や壁、カーテンなどの汚損の原因になります。

●暖房機、テレビ、ホットカーペットなど、電気製品の上で使用しない
転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。

●直射日光のあたる場所や暖房器具の近くで使用しない
誤動作を起こし、周囲を汚損したりする原因になります。

禁止

●製品の上に乗ったり、寄りかかったり、物を置いたりしない
転倒によるケガや火災の原因になります。

水タンクの水について

必ず実施

●水タンクの水は毎日新しいものに取り替える
水タンクは毎日振り洗いし、常に清潔にしてください。
古い水を使用すると、異臭や健康を害する原因になります。

●1週間以上使用しない場合は、必ず水タンクおよび本体内の水を捨てる
水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。

●凍結しそうな時は、水タンクおよび本体内の水を捨てる
凍結すると、故障・水漏れにより、周囲の汚損の原因になります。

禁止

●水道水以外は使用しない
40℃以上の水・科学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用するとカビや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などを起こし、水漏れや周囲の汚損の原因になったりします。

必ず実施

●本体は水平で安定した床の上に設置する
不安定な場所では転倒の恐れがあり、ケガや水漏れの原因になります。また、台や机の上などに設置すると、天井に結露し汚損する原因になります。

プラグを抜く

●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による漏電により、火災・感電の原因となる恐れがあります。

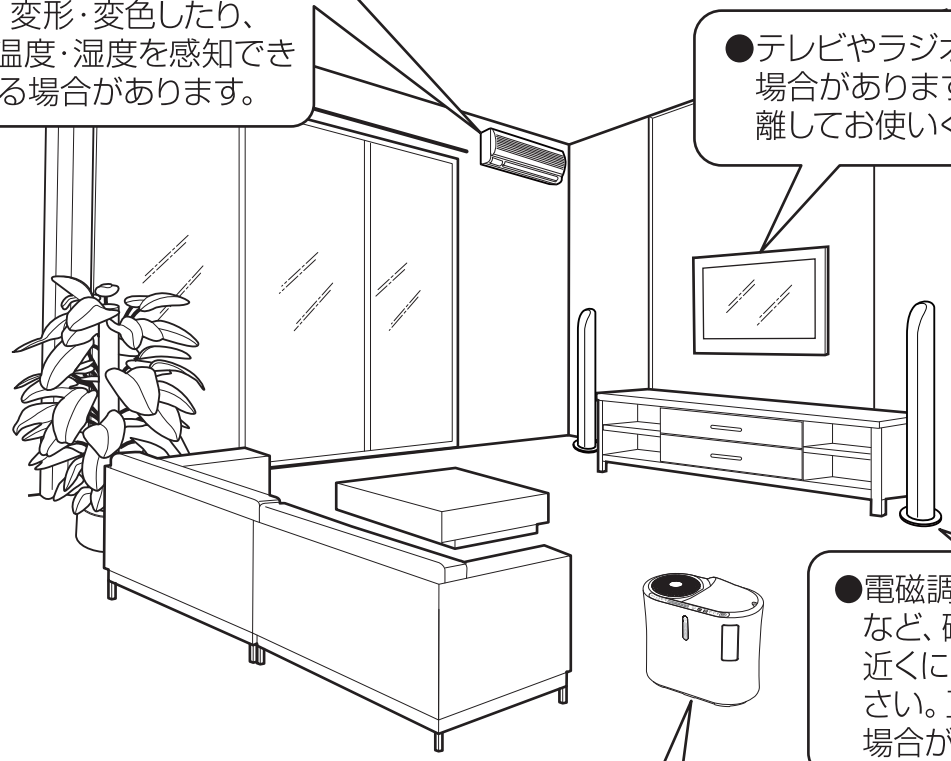
●電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、プラグを持って引き抜く
コードが破損し、発火・ショート・感電の原因になります。

使用上のご注意

■設置場所について

●直射日光やエアコン･暖房器具の温風があたらないところに設置してください。変形･変色したり、センサーが温度･湿度を感知できず誤動作する場合があります。

●テレビやラジオにノイズが入る場合があります。できるだけ離してお使いください。



●電磁調理器やスピーカーなど、磁気のでる機器の近くには置かないでください。正常に動作しない場合があります。

●不安定な場所や、底がデコボコしている場所ではご使用にならないでください。転倒して怪我や故障の原因になります。

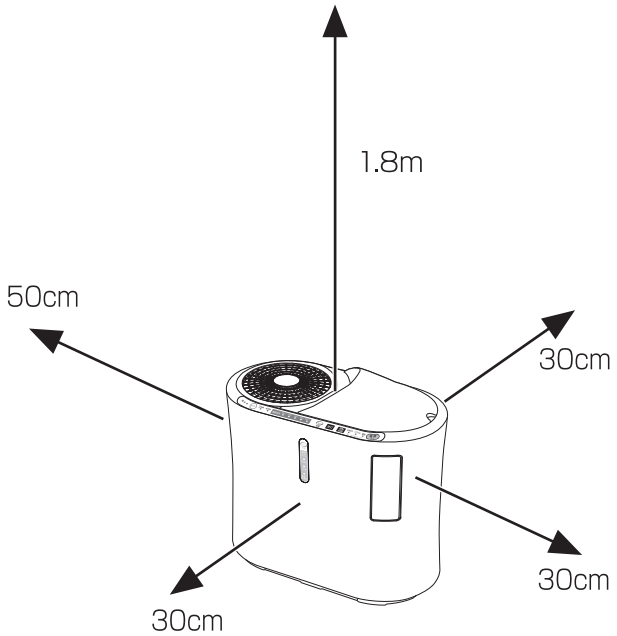
●**製品は床に置いてお使いください。**加湿量が多いため、台などに載せると、霧柱で天井が濡れる場合があります。天井のシミや変色の原因になります。

■使用環境について

●設置の際は、カーテン･壁･家具などから、図に示す距離をとってください。
濡れてシミができたり、変色･カビ･変形の原因になります。

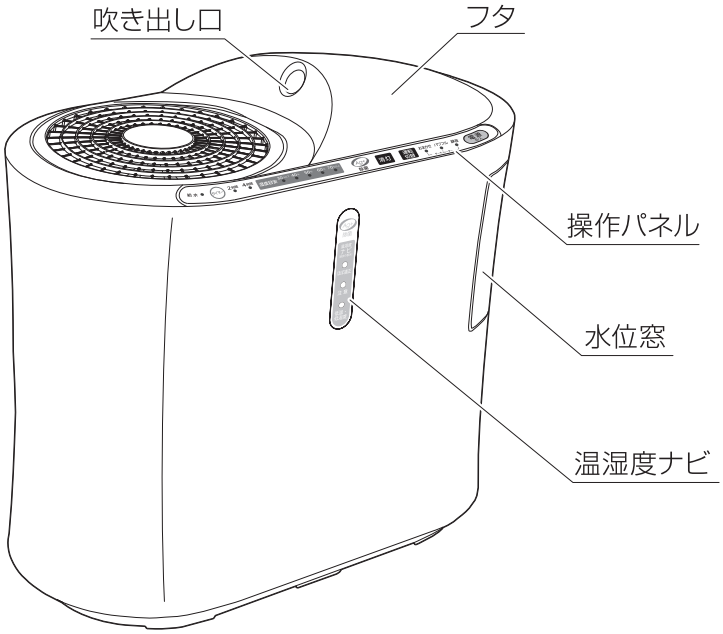
●室温は5℃～35℃でお使いください。

●室温が低いと、床濡れや結露が起こりやすくなります。
運転モードを静音にしたり、室温を上げたり、加湿量の調整を行うなどしてお使いください。
また、窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露をふき取るなどしてお使いください。

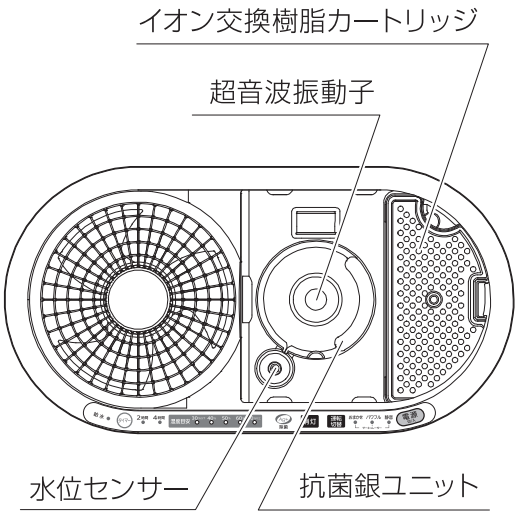


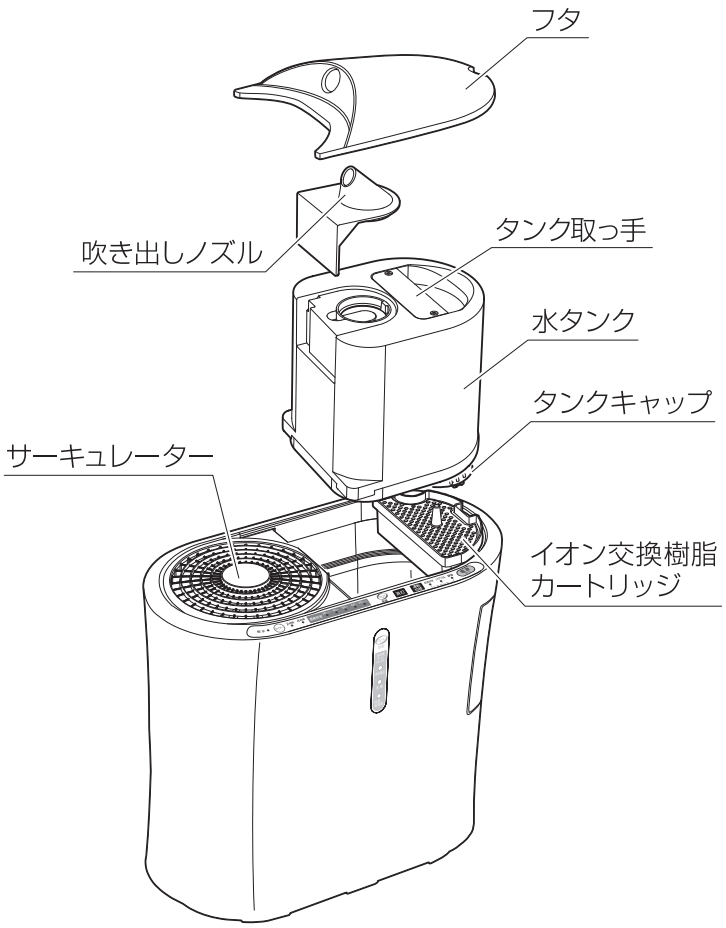
各部の名称

■本体

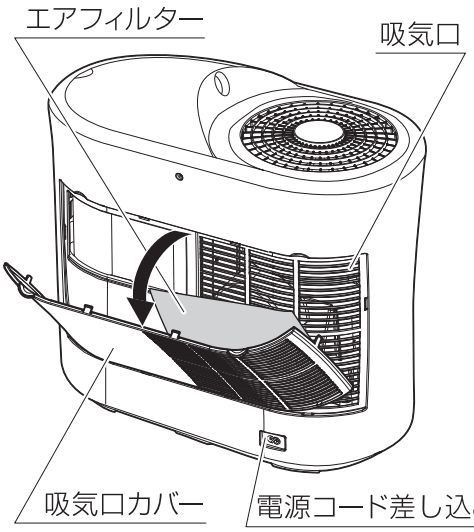


＜上から見た図（水タンク取り外し時）＞

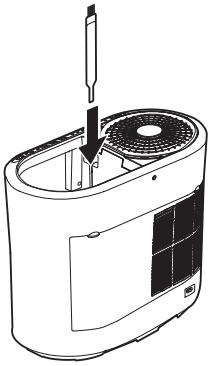




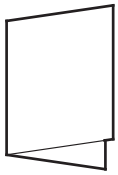
＜背面から見た図＞



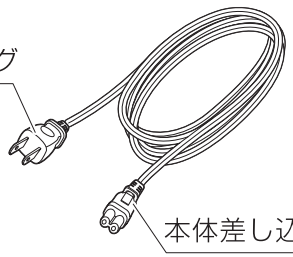
ブラシ本体内収納図



■付属品



取扱説明書（本書）



電源コードセット

ブラシ（本体内収納）

■操作パネル

タイマーボタン・ランプ（緑）

タイマー　2時間 ○　4時間 ○

切タイマー時間を設定します。
ボタンを押すたびに
2時間→4時間→タイマー解除
と切り替わります。（P10参照）

運転切替ボタン・ランプ（緑）

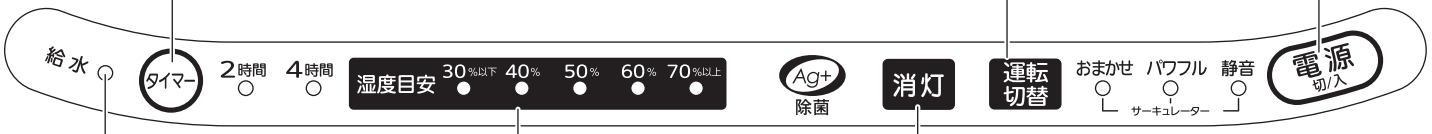
運転切替　おまかせ ○　パワフル ○　静音 ○
サーキュレーター

電源を入れたときはおまかせ運転から始まります。
運転切替ボタンを押すたびにおまかせ→パワフル
→静音→サーキュレーターと切り替わります。
（P9参照）

電源ボタン

電源 切/入

加湿器の電源入/切
を行います。



給水ランプ（赤）

給水 ○

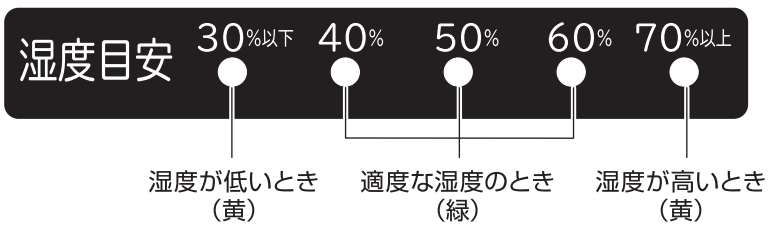
水タンクが空になった時に
点滅します。（P10参照）

消灯ボタン

消灯

運転切替表示以外の全てのランプの
表示/非表示を切り替えます。

湿度目安ランプ



お部屋の湿度（相対湿度）をお知らせします。
電源を入れたときは湿度測定を行う間、30%以下～70%以上
まで順番に点灯します。
※湿度は測定する場所や風向きによって異なります。
　本器表示は目安としてお使いください。

温湿度ナビランプ

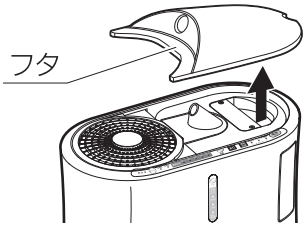
お部屋の温度と
湿度を測定し、
水分量（絶対湿度）
をお知らせします。
（P11参照）

ご使用の前に

■水タンクに水を入れる

1 フタを外す

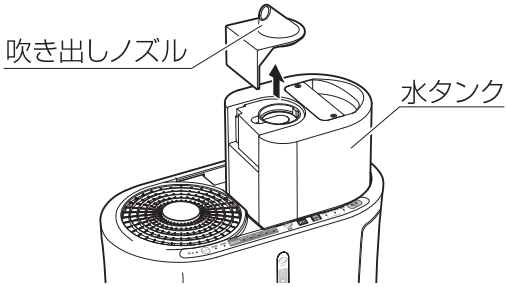
本体のフタを外します。



2 水タンクを取り出し、吹き出しノズルを外す

⚠ 注意

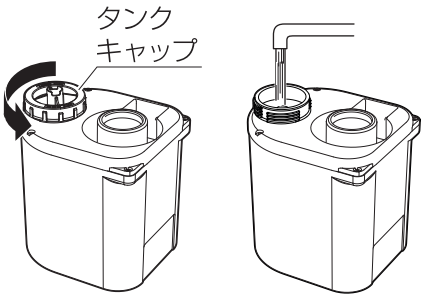
絶対に、水タンクを本体に入れたままでは給水しないでください。
本体故障、水もれの原因になります。



3 タンクキャップを外し、水道水を水タンクに入れる

⚠ 注意

- 水は必ず水道水を使用し、汚れた水やお湯・洗剤・ミネラルウォーター・井戸水などは入れないでください。故障や健康を害するおそれがあります。
- 水に薬品・香料・精油などを入れないでください。故障や健康を害するおそれがあります。

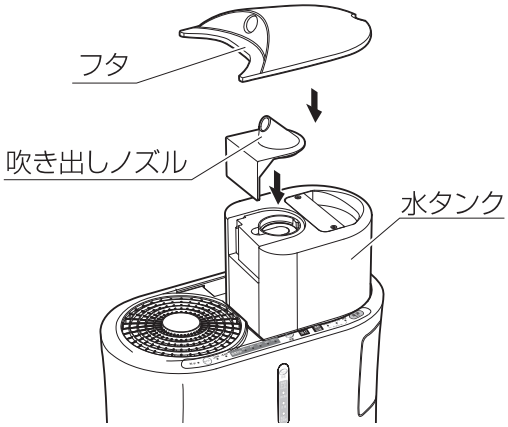


4 タンクキャップをしっかり締め、吹き出しノズルを確実にはめ、本体にセットする

- 吹き出しノズルが確実に取り付けられてないと、運転できません。

⚠ 注意

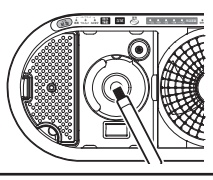
- タンクキャップは確実に締めてください。タンクキャップが斜めになっていたり、ゆるんでいたりすると、水が水タンクからこぼれて、本体の故障や水濡れの原因になります。
- 水タンクをセットする時は、上から落としたりせず、ゆっくりとセットしてください。破損の原因になります。



■電源コードをつなぐ

電源コードの本体差し込みプラグを差し込んでから、電源プラグをコンセントに差し込む

はじめて使う時に、超音波振動子付近に白い粉が出ることがあります。
これは抗菌銀ユニットで使用している銀化合物が輸送等でけずれたものです。
超音波振動子に白い粉が出た時は、P14を参照して超音波振動子のお手入れをしてお使いください。



使いかた

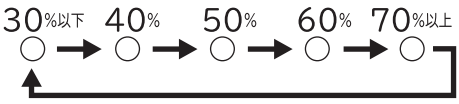
■加湿を開始する

1 電源ボタンを押す

電源ボタンを押すと、お部屋の湿度測定を行います。

湿度測定中は、湿度目安ランプと、温湿度ナビランプが順番に点灯します。

湿度測定が終わると、お部屋の湿度と水分量を湿度目安ランプ、温湿度ナビランプに表示し、「おまかせモード」にて運転を開始します。



2 運転モードを選ぶ

「おまかせ」モード以外で使用するときは、運転切替ボタンを押します。

<おまかせ>
お部屋の湿度を約55～60%に保ちます。

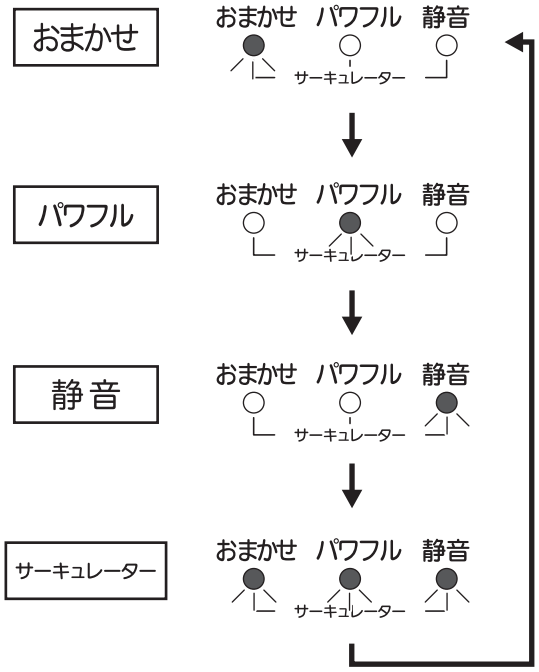
お部屋の温度や湿度を測定し、加湿量を自動で調整します。

<パワフル>
お部屋の湿度を約60～65%に保ちます。
のどやお肌の乾燥が気になるときにご使用ください。

お部屋の温度や湿度を測定し、加湿量を自動で調整します。

<静音>
おやすみの時など、より静かに使用できます。

目標湿度を50%に設定し、ファンの運転音をおさえて、静かに長時間加湿を行います。
静音モードのときは、給水ランプが点滅しても、ブザーは鳴りません。



> 室温が低いときなど床濡れのおそれがあるときは、自動的に加湿量を調整し、間欠運転します。

<サーキュレーター>
加湿をせずに、サーキュレーターのみ運転します。

お部屋の空気を循環させ、冷暖房をいきわたらせます。

> サーキュレーター運転は、水が古くなってにおいなどが発生するのを防ぐため、水タンクと本体内部の水をすべて捨ててから行ってください。

3 停止する

運転中に電源ボタンを押すと、全てのランプが消え、運転を停止します。

> 停止直後は、内部を乾燥させるために約15分間送風運転を行います。

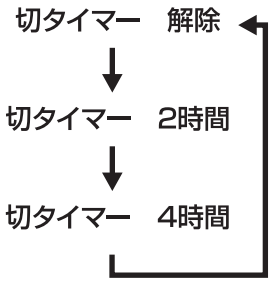
長期間ご使用にならないときは、水タンクと本体内部の水を捨ててください。

次に電源ボタンを入れて運転を開始する時は、前の運転モードと同じ動作を行います。
イオンや温湿度ナビの表示も前回と同じ状態で再開しますが、電源コードをコンセントや本体から抜くと設定はリセットされ、「おまかせ」モードで運転を行います。

■切タイマーの使いかた

●切タイマー　タイマー　2時間 ○　4時間 ○

切タイマーを使うと、指定した時間後に運転を止めることができます。
タイマーボタンを押すと、2時間のランプが点灯し、もう一度押すと4時間のランプが点灯します。ランプの時間が経過すると、運転を停止します。

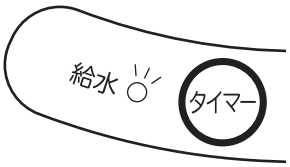


■給水ランプが点滅したら

使用中に水タンク内の水が無くなると、アラーム「ピー♪」が5回鳴り、給水ランプが点滅し、運転を停止します。

水タンクに水道水を入れ（P8参照）、本体にセットしてください。

給水後は給水前の状態（運転モード･タイマー･イオン･温湿度ナビ）と同じ動作で運転を再開します。タイマーは給水前の時間から再度時間のカウントを行います。



●静音モードで運転しているときは、給水ランプが点滅してもアラームが鳴りません。ランプ点滅を確認したら、給水を行ってください。
●水タンクの水がなくならなくても、吹き出しノズルが水タンクにしっかり差し込まれていないと、給水ランプが点滅してアラームが鳴ります。

■加湿量の調整

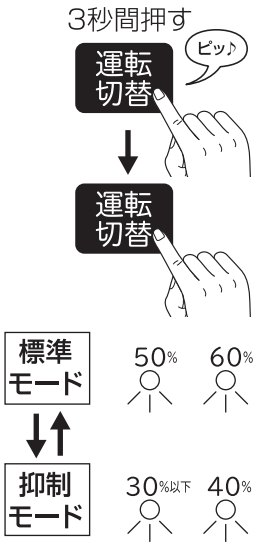
本機は、温度や湿度に応じて最適な運転をしていますが、お客様の使用環境によっては、床が濡れてしまうことがあります。このような場合は、加湿量を調整することができます。

①電源「切」の状態で、運転切替ボタンを3秒間押します。（アラーム「ピッ♪」が鳴ります。）

②運転切替ボタンを押す度に、「標準」モード（50%と60%のランプが点滅）と「抑制」モード（30%と40%のランプが点滅）が切り替わります。

③「抑制」モードを選択したら電源ボタンを押します。（アラーム「ピー♪」が鳴ります。）

再度電源ボタンを押すと運転を開始します。



温湿度ナビについて

本機能は、お部屋の環境（絶対湿度）を測定し、ウィルスが活動しやすい環境かどうかお知らせするものです。

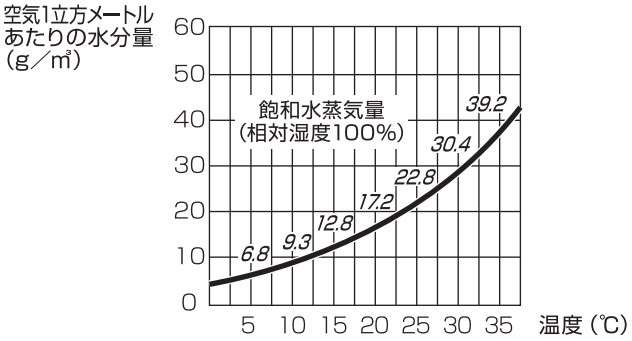
湿度には、相対湿度と絶対湿度があります。

相対湿度は、空気中に含むことのできる水分量（飽和水蒸気量）に対してどれくらいの水分を含んでいるか、という値になります。湿度目安ランプの値は、相対湿度です。

湿度目安ランプ

相対湿度は、気温によって大きく変わります。

気温が15度の時は、1㎥あたりの空気中に12.8ｇの水分を含むことが出来ますが、気温が10度に下がると、飽和水蒸気量は9.3ｇになり、含むことのできなかった水分3.5ｇは結露などの水分に戻ります。氷を入れたコップのまわりに水滴が付いたり、冬に窓が結露するのは、温度の変化で飽和水蒸気量が変わるためです。



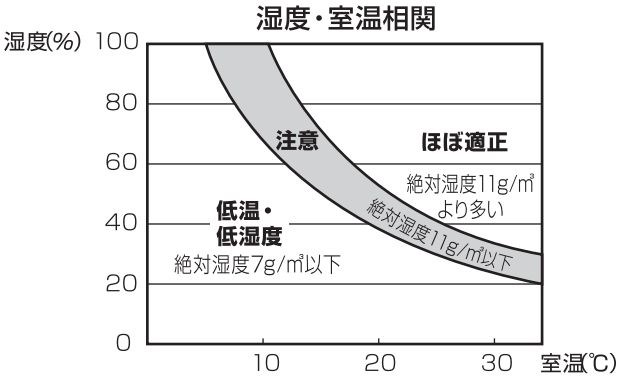
絶対湿度は、空気1㎥に含まれる水分量です。

気温が変わっても水分量は変わらないため、飽和水蒸気量より絶対湿度が高い場合には結露が発生します。ウィルスは水分量が多い雰囲気中では、長く空気中で活動することが出来ないので、ウィルスの活動を抑えるためには、空気中の水分量を多くすることが必要になります。しかし、室温が低いと飽和水蒸気量が低くなるため、お部屋の温度が10度の時は湿度が100%であっても、空気中の水分量は9.3ｇとなってしまいます。温湿度ナビでは、絶対湿度（空気中の水分量）の目安を表示することで、お部屋の中の水分量をよりわかりやすくお知らせします。

温湿度ナビランプ

＜温湿度ナビ表示について＞

温湿度ナビランプ	絶対湿度	望ましい温度・湿度管理
ほぼ適正	11g/㎥より多い	温度・湿度を維持
注意	11g/㎥以下	温度・湿度の下降に注意
低温・低湿度	7g/㎥以下	加湿器で湿度を上げたり、暖房器具で室温を上げる



ほぼ適正ランプを点灯させるには

動作モード	設定湿度（相対湿度）	必要なお部屋の温度目安
おまかせ	60%	約21℃以上
パワフル	65%	約20℃以上
静音	50%	約25℃以上

本製品は、おまかせモードの時に相対湿度55～60%、パワフルモードで相対湿度60～65%で加湿を停止します。湿度が十分上がっても、温湿度ナビランプのほぼ適正ランプが点灯しない場合は、室温が低いことが考えられます。

※必要なお部屋の温度を満たしていてもお部屋の広さや暖房器具、加湿器の位置により、ほぼ適正ランプが点灯しない場合があります。

本製品について

- ●本製品は加湿により湿度のコントロールを行っております。室温を上げることはできませんので、暖房器具などと併用してお使いください。
- ●本製品は医療機器ではありませんので、ウィルスを計測したり、感染予防効果の表示を行うことはできません。
- ●温湿度ナビは、室内の計測結果の表示を行う機能です。加湿動作のコントロールを行う機能はありません。

お手入れについて

●お手入れに、塩素系・酸性タイプの洗剤は使用しないでください。本体故障の原因になります。
●使用中や使用直後はお手入れしないでください。感電やケガの原因になります。

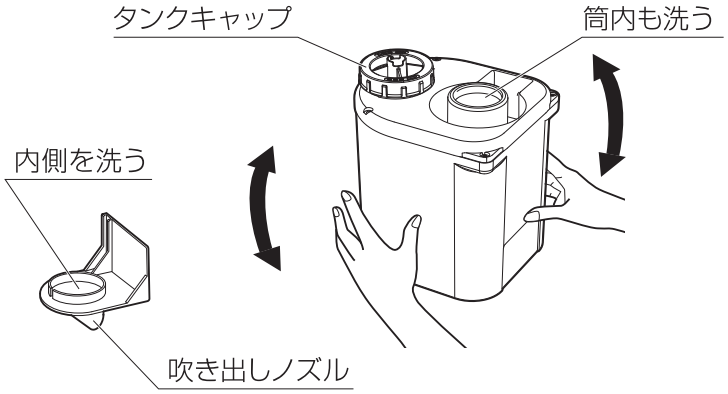
毎 日

■水タンク・タンクキャップ

水タンクに少量の水を入れ、タンクキャップを閉めて振り洗いし、排水してください。

汚れが落ちにくい時は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。
その際は、洗剤が残らないようしっかりすすいでください。

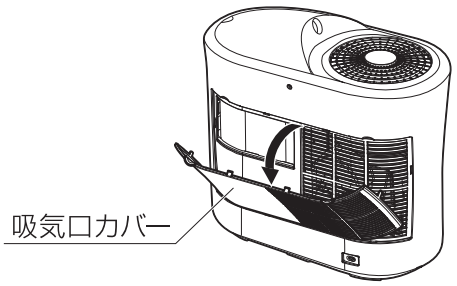
タンクキャップ・吹き出しノズル・水タンクの加湿筒などの内側も、ブラシなどで洗ってください。



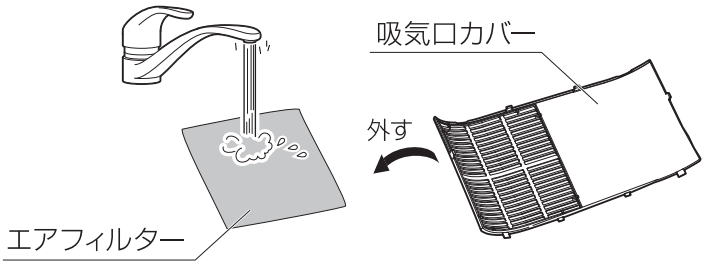
1週間に1回

■エアフィルター

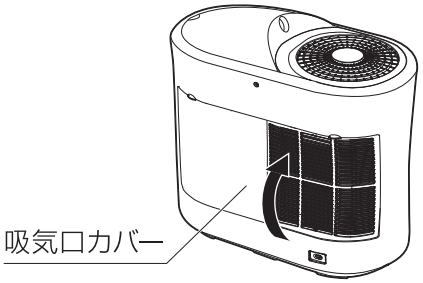
1 本体から吸気口カバーを外す



2 吸気口カバーからエアフィルターを外し水洗いする



3 エアフィルターをよく乾かし、吸気口カバーに取り付けて、元通り本体にセットする

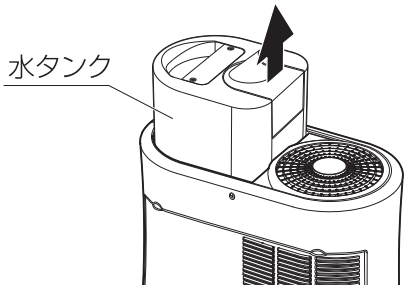


2週間に1回

警告 ●本体内部のお手入れの際は必ず本体差し込みプラグ、電源プラグを抜いてください。
感電やケガの原因になります。

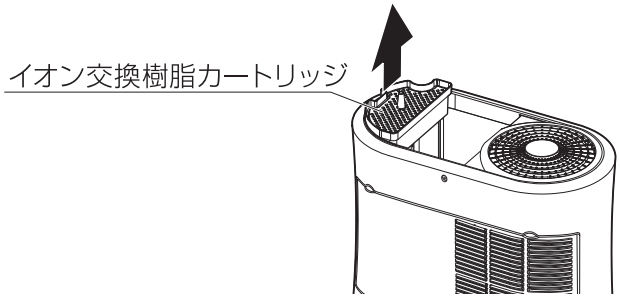
■本体

1 本体から水タンクを外す

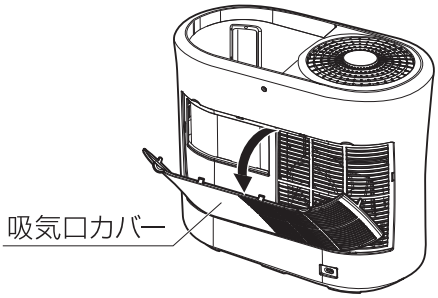


2 イオン交換樹脂カートリッジを外す

●イオン交換樹脂カートリッジを取り付けるときは
上下を間違えないようにご注意ください。

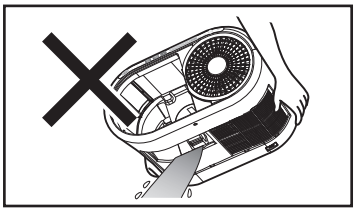


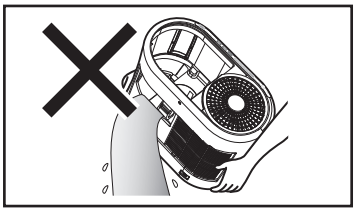
3 吸気口カバーを外す

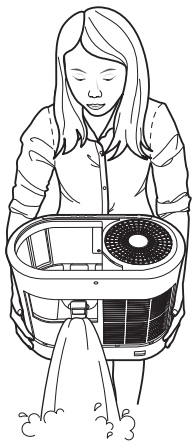


4 本体に残っている水を排水する

注意 ＜排水方向に注意＞
背面方向に傾けてゆっくり静かに排水してください。
斜めに傾けたり、勢いよく傾けると水が機器内部に侵入し、故障の原因になります。







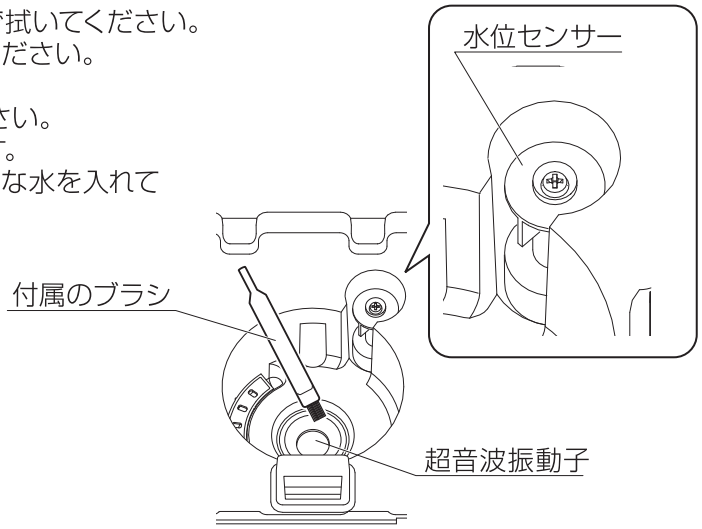
5 ぬらした柔らかい布をよくしぼり、拭き取る

汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤で拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった布で拭き取ってください。

注意
●本体に水をかけないでください。
感電・ケガ・故障の原因になります。
●アルコール・シンナー・ベンジン・みがき粉などは使用しないでください。
製品を傷めることがあります。
●化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。

■本体内部

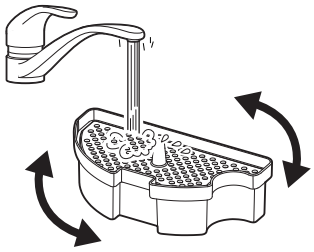
●本体から水タンクを取り外し、内部をやわらかい布で拭いてください。
●たわしや硬いブラシ、みがき粉や洗剤は使わないでください。
故障や動作不良の原因になります。
●超音波振動子は付属のブラシで優しく掃除してください。
汚れや傷が付くと、加湿量が低下する場合があります。
●水位センサーの下はゴミがたまりやすいので、きれいな水を入れて
排水するなどして取り除いてください。



■イオン交換樹脂カートリッジ

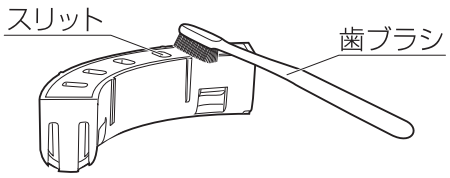
イオン交換樹脂カートリッジを流水で振り洗いし、本体にセットします。
●イオン交換樹脂カートリッジを取り付けるときは上下を間違えないよ
うにご注意ください。

⚠注意 洗剤、クエン酸などを使用すると、性能が落ち、
イオン交換できなくなる場合があります。



■抗菌銀ユニット

水洗いし、本体にセットしてください。
汚れがひどい場合は、歯ブラシなどで軽くこすって汚れを洗い流してください。
本体にセットするときは、スリット面が上になるようにセットしてください。



イオン交換樹脂カートリッジについて

加湿器から発生する霧が蒸発すると、加湿器周辺に白い粉状のものが残ることがあります。
これは、霧(水道水)に含まれるカルシウムやマグネシウム等のミネラル成分で人体には無害なものですが、家電製品や精密機器の内部に入ると、動作不良などの原因になることがあります。

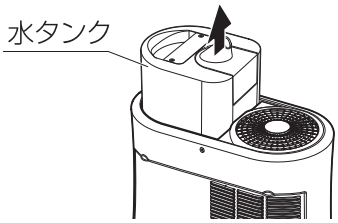
本製品には、白粉の発生を防ぐためにイオン交換樹脂カートリッジが搭載がされています。しかし、イオン交換樹脂カートリッジが汚れたり、イオン交換能力が落ちると、周囲に白粉が付着することがあります。

イオン交換能力が落ちたら、イオン交換樹脂カートリッジを交換するか、再生させて(P16参照)イオン交換能力を回復させてからお使いください。また、家具などに付着した白粉は、水に浸した柔らかい布を固くしぼって拭き取ってください。時間がたつと落ちにくくなるので、早目に拭き取ってください。

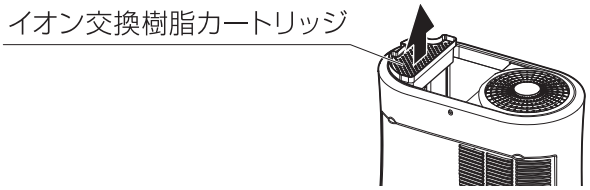
■イオン交換樹脂カートリッジを交換する場合

※イオン交換樹脂カートリッジの交換は、水道水の水質や使用頻度・時間によって異なります。
1日8時間(平均的水道水硬度＝50)で毎日使用した場合、約4ヶ月でイオン交換能力が落ちます。

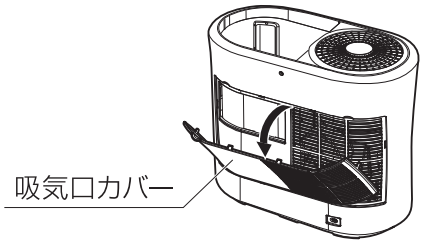
1 本体から水タンクを外す



2 イオン交換樹脂カートリッジを外す



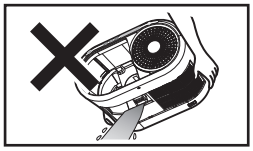
3 吸気口カバーを外す

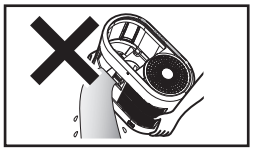


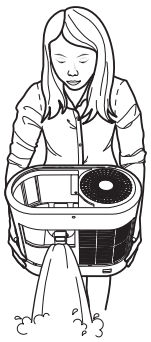
4 本体に残っている水を排水する

注意

＜排水方向に注意＞
背面方向に傾けてゆっくり静かに排水してください。
斜めに傾けたり、勢いよく傾けると水が機器内部に侵入し、故障の原因になります。



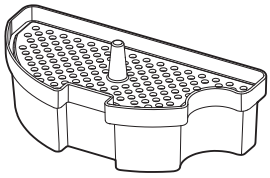




5 古いイオン交換樹脂カートリッジを新しいもの(別売)と交換する。

●イオン交換樹脂カートリッジを取り付けるときは上下を間違えないようにご注意ください。

古いイオン交換樹脂カートリッジは「その他プラ」ゴミとなります。
自治体の取り決めに従って廃棄してください。



イオン交換樹脂カートリッジ

■イオン交換樹脂カートリッジを再生する場合

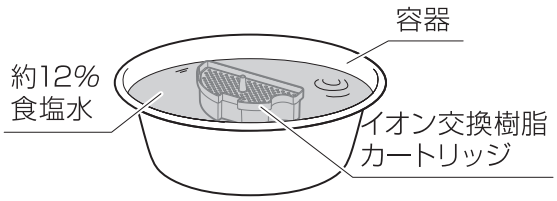
イオン交換樹脂カートリッジは食塩水で再生し、何度でも繰り返し使用することができます。

1 **イオン交換樹脂カートリッジ全体が隠れるサイズの容器を用意する**

洗面器、ステンレスボールなど

2 **容器に約12%の食塩水を作り、イオン交換樹脂カートリッジ全体を食塩水に沈める**

（1Lの水道水に約140gの塩（食塩）を入れよくかき混ぜて溶かすと、約12%の食塩水が作れます。）



3 **食塩水につけた状態で一晩置いておく(8時間以上)**

4 **食塩水を捨て、イオン交換樹脂カートリッジを取り出す**

5 **イオン交換樹脂カートリッジを、上から多めの流水で1分以上よくすすぎ、カートリッジ内の食塩を洗い流す**

このとき、カートリッジ内全体に水道水がいきわたるようにします。

6 **カートリッジの水を切り、加湿器内に戻す**

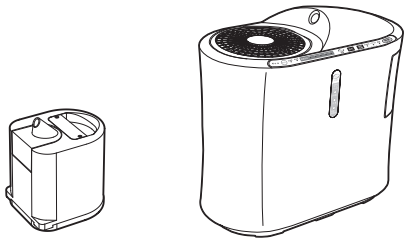
●イオン交換樹脂カートリッジを取り付けるときは上下を間違えないようにご注意ください。

⚠注意 食塩水につけたあとのイオン交換樹脂カートリッジは、必ず流水でよくすすいでください。カートリッジ内に塩分が残っていると、本体のサビや劣化の原因となります。

収納について

1 **水タンク・本体の水を抜いて、よく乾かす**

水分が残っているとカビの原因になります。

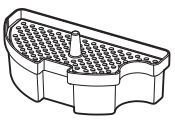


2 **包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせて、湿気の少ない場所で保管する**

別売品

●強力ハイブリッド加湿器「イオン交換樹脂カートリッジ」KHH-C280

※使用頻度や水質などによって、交換時期は変わりますので、白い粉の発生状況に注意してください。



●エアフィルター等の消耗部品については、お買い上げの販売店またはアイリスコールまでお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状　態	考えられる原因	処　置
加湿されない	●電源プラグがコンセントにしっかり差しこまれていない	●電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
	●電源コードの本体差し込みプラグがしっかり差し込まれてない	●電源コードの本体差し込みプラグを確実に差し込んでください。
	●給水ランプが点滅している	●水タンクに給水してください。
	●イオン交換樹脂カートリッジがつまっている	●イオン交換樹脂カートリッジのお手入れをしてください。（P14参照）
	●水タンクを入れた状態で傾けたり、本体に振動を与えた	●水が吹出口底部に入ると霧が出なくなります。一度本体内の水を排水してください。(P13参照)
	●転倒時安全スイッチが働いている	●水平で平らな床の上に設置してください。
タンクに水が入っているのに、給水ランプが点滅する（アラームが鳴る）	●吹き出しノズルが外れている	●吹き出しノズルを水タンクにしっかりとはめてください。
	●本体が傾いている	●水平で安定した床の上に設置してください。
	●イオン交換樹脂カートリッジが入っていない	●イオン交換樹脂カートリッジを入れてください。
霧の出が少なくなった	●エアフィルターが目詰まりしている	●エアフィルターを掃除してください。
	●超音波振動子が汚れている	●超音波振動子に水アカなどが付着すると霧の出が悪くなります。付属のブラシを使い、超音波振動子のお手入れをしてください。
	●お部屋の湿度が設定湿度を超えている	●湿度コントロール機能が働いています。異常ではありません。
床が濡れる	●室温が低い	●室温が低いと床濡れが起こりやすくなります。室温を上げてください。
	●使用環境によっては床が濡れる場合がある	●加湿量を調整してください。（P10参照）
	●エアフィルターが目詰まりしている	●エアフィルターを掃除してください。（P12参照）

状　態	考えられる原因	処　置
湿度を上げても温湿度ナビの“ほぼ適正”ランプが点灯しない	●室温が低い	●室温が低いと、絶対湿度が足りず“ほぼ適正”ランプが点灯しません。 お部屋の温度を上げてください。
	●静音、おまかせモードで使用している	●静音モード･おまかせモードでは、設定湿度が低く、絶対湿度が不足する場合があります。 パワフルモードを使用したり、室温を上げてください。
においがある	●本体内部やエアフィルターが汚れている	●本体及びフィルターを掃除してください。
	●水が古くなっている	●水タンクを洗い、新しい水をいれてください。
	●抗菌銀ユニットが入っていない	●本体内部のお手入れをし、抗菌銀ユニットを入れてください。
湿度が上がらない	●部屋が適用床面積より広すぎる	●適用床面積で使用してください。
	●窓や戸が開いている	●窓や戸をしめて使用してください。
白い粉が出る	●水道水の中のミネラル分が多すぎる	●イオン交換樹脂カートリッジのお手入れ回数を増やしてください。
	●イオン交換樹脂カートリッジの処理能力が落ちている	●イオン交換樹脂カートリッジを交換するか再生させてお使いください。(P14,P15参照)
LEDが全て点灯し、アラームが鳴って操作を受け付けない	●超音波振動子の異常を検知している	●アイリスコールへご相談ください。

それでも解決できないときは

●ご購入の販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。

⚠ 警告　ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

品番		PHA-750	
定格電圧		AC100V	
定格周波数		50Hz	60Hz
消費電力		158W	160W
適用床面積(目安)	木造和室	13畳	
	プレハブ洋室	21畳	
加湿量	おまかせ・パワフル	約750mL/h	
	静音	約250mL/h	
運転音	おまかせ・パワフル	約40db以下	
	静音	約29db以下	
	サーキュレーター	約37db以下	
連続加湿時間※1	おまかせ・パワフル	約5.3時間	
	静音	約16 時間	
タンク容量		約4L	
製品サイズ		幅約420×奥行約220×高さ約390mm	
製品質量		約4.8kg	
電源コード長さ		1.5m	

超音波振動子の寿命は約5000時間です。
適正な広さの部屋で1日8時間、4ヶ月運転した場合、約5年間ご使用いただけます。
※1 最大加湿量で連続加湿を行った場合
●商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証期間中に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。
無料にて修理させていただきます。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

強力ハイブリッド加湿器　PHA-750　保証書

本書はお買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合には、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年　月　日	保証期間 お買い上げ日より：1年間　ただし消耗部品は除く
お客様	ご芳名
	ご住所 〒 電話（　　）　-
※ 販売店	住所・店名 電話（　　）　-

当商品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、商品の修理・交換の商品発送のみに使用し、それ以外に使用したり第三者に提供することは一切ございません。

販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理致します。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限らせていただきます。保証期間内におきましても、その他の保証は致しかねます。
4. ご転居やご贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理がご依頼になれない場合には、弊社アイリスコールにお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
   ①使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
   ②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
   ③火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
   ④一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶へのとう載）に使用された場合の故障及び損傷
   ⑤お買い上げ後の移動、輸送又は什器備品などとの接触による故障及び損傷
   ⑥本書の提示がない場合
   ⑦本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は弊社アイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書（本書）をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社
〒980-8510 仙台市青葉区五橋２丁目１２番１号
ホームページ http://www.irisohyama.co.jp/

お問い合わせはお気軽にアイリスコールに
アイリスコール　受付時間 9:00～17:00
0120-311-564

060813-KTK-KTK-03
P060813-KTK-WYT-01